

平成23年度

安房地方教育研究集会

【第23分科会 「能力・発達・学習と評価」】 教育研修部より提案

研究テーマ 思考力を高める学習指導のあり方 ～「きく」・「話す」活動をとおして～

研究内容 研究紀要第60集「3. 教育研修部」(PDF)をご参照ください。



助言者より

- 思考力・判断力・表現力は、どこの学校でも課題になっている。思考力を高めるうえでの目指す子どもの姿はよくとらえられている。
- 「きく」「読む」ことは教師は評価しづらいものであるが、話したことをもう一度話させる、自分の考えと違うところを書く、聞いたことを50字以内にまとめるなどの活動を通して、評価できるようにしていく必要がある。

〈助言者〉 田村 正雄 先生
(鋸南町立鋸南中学校 教頭)



1. 成果

- 「問題解決学習」では「課題把握」が大切
- きく・話す活動を活発化する教材・教具、教室環境づくりの工夫は有効



【第30分科会 「情報化社会と教育・文化活動」】 調査研究部より提案

研究テーマ 携帯電話の適切な利用に向けて ～安房と全国の調査結果を比較して～

研究内容 研究紀要第60集「2. 調査研究部」(PDF)をご参照ください。



助言者より

- データが緻密に集計・考察されており、安房の小・中学生の携帯電話に対する意識や実態がよくわかる。リーフレットも見やすい。
- データの量が多いので、研究のまとめに必要なデータを絞った方がより見やすいデータとなる。データを絞ることも提案するうえで必要なことである。

〈助言者〉 小野塚 計一 先生
(南房総教育事務所安房分室 主任指導主事)

